

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画
事務事業名	がん検診事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	~63年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省）
相模原市各種がん検診実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
がんの早期発見、早期治療を図るとともに、この疾病の疑いのあるものまたは危険因子を持つものをスクリーニングすることを目的とする。		40歳以上の市民（子宮がん、乳がんは30歳以上の女性市民）	
		対象数	629,700人（5がん延べ人数）
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
受診者数	受診率	がん発見者数	健康診査の充実 成人健康診査の実施 各種がん検診受診率 4.2~9.9%（平成10年度末見込）
胃がん 5,739人	4.5%	11人	
子宮がん 10,159人	9.2%	13人	
乳がん 9,390人	8.2%	24人	
肺がん 5,830人	4.0%	2人	
大腸がん 4,558人	3.5%	10人	
決算内訳	(5) 個別計画の概要		
委託料 198,501千円	計画名 相模原市高齢者保健福祉計画		
需用費 4,282千円	計画年次 12年度~16年度		
報償費 7,274千円	平成10年度実績の5割増を目標とする （受診者数：平成16年度目標値）		
その他 678千円	胃がん：7,900人 子宮がん：12,400人 乳がん：11,700人 肺がん7,800人 大腸がん：6,900人		

4 評価指標

指標名	受診率	精密検査受診率	がん発見率
指標式	$(\text{受診者数} / \text{検診対象者数}) \times 100$	$(\text{精密検査受診者数} / \text{要請検査者数}) \times 100$	受診者10,000人あたりのがん発見者数
指標設定の意図	定期的ながん検診を受診する状況を表す	一次検診の結果、要精密検査と判断された者が必要な精密検査を受診したことを表す	がん検診の目的であるがんの発見状況について表す

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	5	5	a 6	b 6	8	
指標	92	87	c 90	d 92	92	
指標	12	12	e 17	f 17	40	
事業費	決算（予算）額	159,729	165,206	210,735	202,355	319,884
	人員・時間数	2.0人	2.0人	2.2人	2.2人	2.4人
	人件費	16,840	16,840	18,524	18,524	20,208
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	176,569	182,046	229,259	220,879	340,092
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか														
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 96.0%												
	B:一部達成していない(100%> 80%)													
	C:達成していない (80%>)													
a	5.7	b	6.3	$\times 100 = 90.3\%$	c	89.9	d	92.0	$\times 100 = 97.7\%$	e	17.0	f	17.0	$\times 100 = 100.0\%$
理由:	精密検査受診率とがん発見率についてはおおむね目標を達成できている。受診率の向上については、健康づくりの意識高揚に係る普及啓発や受診勧奨通知等の充実により目標を達成できるよう、取り組むことが大切である。													

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	予防医学の観点から、時代に適応した事業内容であるが、今後も検診の有効性等についての情報を得て、迅速に対応していくことが求められる。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	がんを発見するとともに、がんの前段階といえる疾患を早期発見し治療につながられている結果から、医療費の抑制または健康寿命の伸長に役立っていると考えられる。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	人間ドック検診等(がん検診を含む)は普及してきているが、身近な医療機関等において安価で受診できるがん検診は、今後も市が継続して実施していく必要がある。(事業の一部は委託実施済)
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	がんやがん以外の疾病の疑いについてもスクリーニングでき、一定の評価は得られている。今後、より高精度で簡便な検診方法や、検査に関する情報提供等を変化に応じて対処することが必要である。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	がんの早期発見、早期治療から医療費の抑制等につながる有効な施策である。今後は受診率の向上を推進していく必要がある。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 乳がん検診におけるマンモグラフィ検査等、精度の向上を図ることを検討していく。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 検診に関わる受益者負担の見直し、受診勧奨制度の見直しにより、経費の削減を図っていく。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	【県内各市の受益者負担金額の状況】 ()内は相模原市	
		胃 施設 1,400～3,100円(2,900円) 集団 500～1,230円(900円)	子宮 施設 700～1,900円(1,700円) 集団 600～900円(600円)
今後の進め方		<p>説明</p> がん検診の受診率の向上を図るため、受診勧奨方法を見直す(平成13年度)とともに、大腸がん検診を施設検診においても受診できるよう体制整備(平成14年度)を行うなど、市民の利便向上方策を実施してきている。今後は、受診率の向上と併せ、検査の精度が高いとされる乳がん検診におけるマンモグラフィ検査の導入を検討していくこととする。 横浜市、川崎市…乳がん検診にマンモグラフィ検査を導入	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--